

## I. トランプ政権の発足

1、アメリカ第一主義—ジャクソニアン—の視点—Walter Russel Mead は Foreign Affairs 3・4 月号 The Jacksonian Revolt で Trump の原点を第 7 代大統領 Andrew Jackson (1829-37) の Populist nationalism と規定、The common man (反エリート)、男子普通選挙、中央銀行反対、米英戦争勝利 (司令官) だが、大量奴隷・大地主、インディアンの虐殺。

: 国内第一、包囲警戒・鉄砲必須、反中央・分権、個人・家族尊重、20 ドル札

2. 米国は、不公正交易、世界への関与で大損害。雇用喪失、企業の海外移転 (特に製造業) 移民増加、社会不安、同盟国はただ乗り。TPP 廃止。現状への批判だが、建設的主張なし。

3、外交—米利益中心、人権・価値外交なし、多国間より二国間交渉。中、日、独の貿易黒字、メキシコは移民・企業移転、反イスラム移民、NATO, 日韓の防衛負担。

4. 安全保障—強い米軍による自国防衛、露と融和。中国とは南シナ海・台湾、北朝鮮問題

## II. 政権の現状

1. 経済好調、施政演説、安倍会談など 2 月好評だが、振り子は戻る。支持率 4 割以下。

2. 幾つかの失敗—7・6 か国への国境閉鎖大統領令。フリン辞職、ロシア疑惑、オバマ攻撃 : オバマケア代替案停止の打撃—共和党の混迷 (上院 52 対 48、下院 237 対 193、フリーダム議連約 30)、CBO の予測、今後への不信。中間選挙への予測—オバマの 2010 年。

3. 強い議会の壁—法人税など減税、規制緩和、貿易、インフラ投資への影響、株は？

4. 進まない人事—最高裁判事、各省幹部。統合した政策の欠如。

5、Bannon の影響、Kushner 台頭、Priebus、Mattis 長官、Tillerson 長官、McMaster (CBO: 2018 年医療保険者 14 百万人減、2026 年 24 百万人減、52 百万人が非保険の予測)

## III. 予算

1. 1 月 27 日国防総省でアメリカ第一予算の青写真の大統領令。「米軍の力による平和」。

2. Mattis 長官 1 月末 3 段階覚書通達。Phase 1: FY2017 Budget の修正。即応性改善、ISIS 戦へ急展開。Phase 2: 2018 年度予算概要。即応性再建、緊要な弾薬購入、軍態勢の加速など。ワーク氏がリードで 5 月に提出。Phase 3: National Defense Strategy (軍の態勢、高度競争者も破壊力への対応) と FY2019-23 Defense Program を作成 (国家安全保障戦略と適合)。

3. 3 月 16 日、2017 年度裁量経費修正案 (国防費 250 億ドル増、国防外 150 億ドル削減)、2018 年度裁量経費予算は国防費は基幹予算 540 億ドル増 (OC0770 億ドルで 6800 億ドル)、非国防費を同額削減。義務的経費を入れた本予算教書は 5 月提出の予定。

4. 予算管理法廃止は、軍事費増 OK だが、共和党福祉削減、民主党富裕者増税で不一致

5. CBO 予測は 2018 年度財政赤字 4870 億ドル (GDP 比 2.4%)、公債残高 15 兆 4 千億ドルだ

が、2027年度、赤字5%、公債残高25兆ドルの予測。利払い負担を懸念の意見。

#### IV. 複雑だが、緊張の米中関係

1. ルットワークの3つの中国政策説—財務、国防、国務省、ライス NSC が4つ目で強力。
2. 強まるオバマ批判—13年秋世界の警察官引退声明後、世界流動化—ロシアのクリミア併合、ウクライナ介入、IS モスル占拠、中国・14年南シナ海埋め立て。米国の自由航行作戦は15年9月。16年7月国際仲裁後の米国は中国批判抑制。安倍首相の孤軍奮闘、アセアン諸国は中国依存へ雪崩、ドテルテ登場、中国では、西紗、南紗の成功を称賛、スカボロー礁軍事化は未完の事業、時間の問題かだが、のど元のとげか？米側には南シナ海埋め立て参加の中国企業及び資材提供の西側企業に制裁を科する案。Ratner の米政府批判
3. トランプ—習会談の行方、貿易、北朝鮮(米20年間の政策失敗)、南シナ海。
4. 米国では中国を念頭の War game が多くなっている。AirSea Battle, 第3の相殺戦力、RAND の Military Score card(2015), War with China(2016)。
5. Derek Scissors の中国経済混迷説—貯蓄率5割経済の問題、需要管理の難しさ、超緩慢金融下での債務累積、国有企業改革進まず、鉄鋼生産調整未了・環境問題。中国からの資金流出、外準減は、中国への不信、構造調整が進まずば、2020年代は危機。

#### V. 日米関係

1. 安倍—トランプ会談の成功、昼夜4回の食事、Golf. Air force One. 独、加、豪と比較  
①尖閣保障、②難問の経済は日米経済対話(麻生—Pence)、③多国間会議時の日米会談、成功の理由—①戦略関心の一致—対中、北朝鮮、ロシア、②、両者・体質の合致、③安倍首相の評価(国際会議、首脳会談の経験)(中国の巻き返し、クシュナー夫妻工作)
2. 米国での日本の人気は高く、日本への期待。アセアン諸国の能力造成は当然だが、南シナ海での海上艦艇、海上保安艇に関する、日米共同行動、日本への要望が強くなっている。
3. 日米の距離の専制、地勢の差への対応

VI-日程 2017年3月18日 成田発 16:55 NH7028 IDA着 Harrington hotel 泊

3月19日

夕方。菅井、福田、坂本会食

3:20 9:30 Jan Van Tol CSBA 12-13. Heritage Dean Cheng

14:15-15:00 Ely Rater Council on Foreign Affairs

3:21 9:00. Nicholas Szecheniyi CSIS 10:30 Derek Scissors AEI

12.00 -13.30 CATO The U.S.' Global Role in the 21<sup>st</sup> Century Wholforth

16:00 O' Rourke CRS 17:45 Benjamin Self Mansfield Foundation

3:22 8:30 -16.00 CSIS Space Security 10:30-12:00 Dean Cheng Heritage

16.00 Harold Rand

3:23 9:30-15.00 Brookings Institution U.S.-China relations in the new

Administration

Green、Glaser ,Smith、Xinbo 等 16:00 Roger Cliff CNA 18:00 菅井一佐  
宅  
3.24 12.00 IDA NH1 3.25 15:15 Narita